

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																											
専門学校 山形V. カレッジ	昭和61年4月1日	山本 絵里子	〒990-0834 山形県山形市清住町一丁目4番41号 (電話) 023-644-1122																											
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																											
学校法人山本学園	昭和26年11月1日	山本 恒雄	〒990-0834 山形県山形市清住町一丁目4番40号 (電話) 023-643-0358																											
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士																										
文化・教養	文化・教養関係専門課程	医薬事務・企業会計科	平成30年文部科学省告示第31号	—																										
学科の目的	企業・医療機関の事務職、医療事務職として就業するために、簿記と医療事務のそれぞれの専門性を習得します。また、マナー、コミュニケーション、各種ソフトウェア活用を学び、社会人基礎力を土台にして、それぞれの分野で必要な専門知識を持つ人材を育成します。																													
認定年月日	平成31年3月5日																													
修業年限	昼夜	講義	演習	実習	実験	実技																								
2	64単位	70単位	20単位	26単位	0単位	0単位																								
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																									
4	4人	0人	1人	7人	8人																									
学期制度	■前期: 4月1日～9月30日 ■後期: 10月1日～3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 期末試験、課題、レポート、出席率、授業態度等を点数化し、ABCDの4段階評価を行っている。 進級条件 32単位以上取得 卒業条件 64単位以上取得																										
長期休み	■学年始: 4月 1日～4月 5日 ■夏季: 8月 8日～8月30日 ■冬季: 12月24日～1月 6日 ■学年末: 2月 6日～3月31日		卒業・進級条件	■課外活動の種類 学生会による企画運営・ボランティア等																										
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 学生生活、学習状況に応じて、適宜個別面談、保護者面談を実施する。		課外活動	■サークル活動: 無 ■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和元年度卒業生に関する令和2年5月1日時点の情報)																										
就職等の状況※2	■主な就職先、業界等(令和元年度卒業生) なし ■就職指導内容 1週2時間の就職指導時間(ビジネス実務)を設定する他、キャリア講座、職業講話、マナー講座などを実施する。 ■卒業生数 1 人 ■就職希望者数 0 人 ■就職者数 0 人 ■就職率 0 % ■卒業生に占める就職者の割合 : 0 % ■その他 ・進学者数: 0人 (令和元年度卒業生に関する令和2年5月1日 時点の情報)		主な学修成果(資格・検定等)※3 ■種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 (例)認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療秘書検定</td> <td>③</td> <td>1人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>全経電卓1級</td> <td>③</td> <td>1人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>全経簿記3級</td> <td>③</td> <td>1人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>ジョブパス2級</td> <td>③</td> <td>1人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>医事コンピュータ3級</td> <td>③</td> <td>1人</td> <td>1人</td> </tr> </tbody> </table>			資格・検定名	種	受験者数	合格者数	医療秘書検定	③	1人	1人	全経電卓1級	③	1人	1人	全経簿記3級	③	1人	1人	ジョブパス2級	③	1人	1人	医事コンピュータ3級	③	1人	1人
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																											
医療秘書検定	③	1人	1人																											
全経電卓1級	③	1人	1人																											
全経簿記3級	③	1人	1人																											
ジョブパス2級	③	1人	1人																											
医事コンピュータ3級	③	1人	1人																											
中途退学の現状	■中途退学者 0名 ■中退率 0% 平成31年4月1日時点において、在学者4名(平成31年4月1日入学者を含む) 令和2年3月31日時点において、在学者4名(令和2年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 ■中退防止・中退者支援のための取組 学校生活、出席状況に目を配り、個別の面談を設ける他、保護者との相談も実施している。																													
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 経済的に就学困難な学生に対し、授業料の減免を行う。 ■専門実践教育訓練給付: 非給付対象																													
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無																													
当該学科のホームページURL	https://www.ycb.ac.jp																													

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

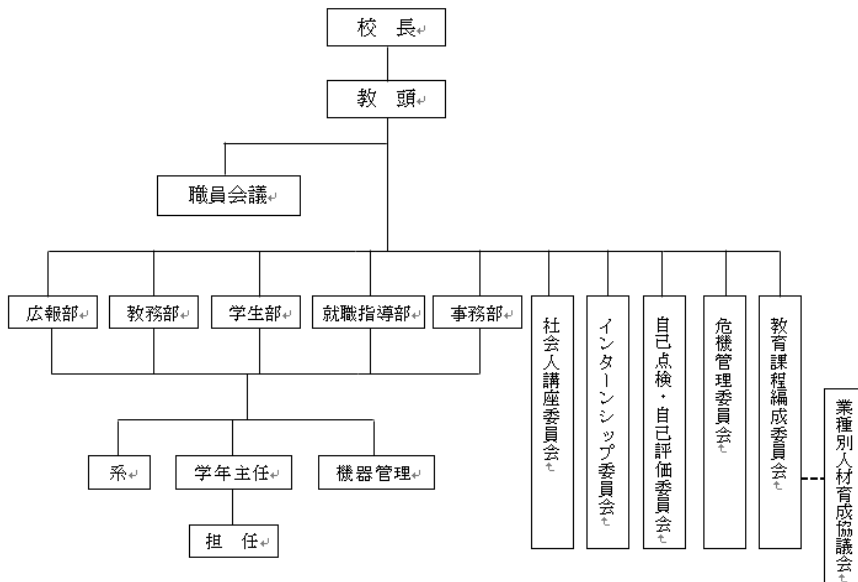
株式会社戦略MG研究所と提携し、現代のビジネスパーソンとして「財務諸表を読み力」を育むことを基本方針にします。具体的内容として、当学科授業科目「マネジメントゲーム」において、「戦略MGマネジメントゲーム」をツールとして用い、参加者ひとり一人がゲーム形式で起業、経営し、企業活動の様々な意思決定を実践していきます。ゲームによって

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

学校運営組織図

専門学校 山形V.カレッジ



(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和2年5月1日現在

名前	所 属	任期	種別
鈴木 隆一	株式会社でん六 代表取締役社長 山形商工会議所 副会頭	平成31年4月1日～ 令和3年3月31日(2年)	①
佐藤 一	山形小末医科器械株式会社 代表取締役社長	平成31年4月1日～ 令和3年3月31日(2年)	③
早坂 実	株式会社サンセットスタジオ 代表取締役	平成31年4月1日～ 令和3年3月31日(2年)	③
森 昭宏	有限会社マックベース 社長	平成31年4月1日～ 令和3年3月31日(2年)	③
鈴木 敬尚	株式会社スズキ通商 代表取締役	平成31年4月1日～ 令和3年3月31日(2年)	③
岸 裕紀	株式会社ウィル 代表取締役社長	平成31年4月1日～ 令和3年3月31日(2年)	③
大久保 章宏	株式会社大久保硝子店 代表取締役社長	平成31年4月1日～ 令和3年3月31日(2年)	③
鈴木 静江	学校法人山本学園竹田和裁研究所 事務長	平成31年4月1日～ 令和3年3月31日(2年)	③
半澤 和仁	東北電化工業株式会社 総務部次長兼人事労務課長	平成31年4月1日～ 令和3年3月31日(2年)	③
今井 啓三	弘栄設備工業株式会社 常務取締役	平成31年4月1日～ 令和3年3月31日(2年)	③
山本 絵里子	学校法人山本学園 副理事長 竹田幼稚園・竹田西部幼稚園 園長	平成31年4月1日～ 令和3年3月31日(2年)	

八 矢 由 子	専門学校 山形V.カレッジ 教頭	平成31年4月1日～ 令和3年3月31日(2年)	
梅 津 隆 雄	専門学校 山形V.カレッジ 情報・建築系主任	平成31年4月1日～ 令和3年3月31日(2年)	
堀 川 栄美子	専門学校 山形V.カレッジ ファッションビジネス系主任	平成31年4月1日～ 令和3年3月31日(2年)	
渡 辺 聡	専門学校 山形V.カレッジ 教員 (学校内教育課程編成委員)	平成31年4月1日～ 令和3年3月31日(2年)	
梅 津 隆 雄	専門学校 山形V.カレッジ 教員 (学校内教育課程編成委員)	令和2年4月1日～ 令和3年3月31日(2年)	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回

(開催日時(実績))

第1回 令和元年10月21日 16:00～17:00

第2回 令和2年 2月19日 16:30～17:30

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

年1回開催の「業種別企業懇談会」では必要な人材やカリキュラムについての意見交換を行い、教育課程編成委員会にも報告され審議される。「業種別懇談会」でのコミュニケーション力養成の要望に基づき、「ビジネスマナー」「ビジネス実務」「NIE」ではグループワークを多く実践する。また、委員会では事務職のICT活用力の必要性について助言があり、従来のIT活用(Word Excel)に加え、ホームページ作成と素材作成を学ぶため「ネットビジネス演習」科目を取り入れた。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

簿記会計の知識が実践的な経営でどのように活用できるのか、シュミレーションゲームの会社経営によって理解し、生きた知識に成長させる

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

株式会社戦略MG研究所の「戦略マネジメントゲーム」を使用し、参加者ひとり一人がゲーム形式で起業し、企業活動の様々な意思決定をしていく中で、会社の仕組みや役割、会社の基礎・資金管理・損益分岐点コントロールなどをマスターしていく。当該ゲームを通じ、損益計算書・貸借対照表・キャッシュフロー計算書などの「財務諸表を読む力」を育むことを基本方針とする。学生は、決算各期ごとに企業講師(インストラクタ)のアドバイス・評価を受け、第五期終了後は最終経営成績や期間中の実績をもとにして、本校の評価規程により企業講師が成績を

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
マネジメントゲーム	経営シュミレーションゲームを体験し、実践的な経営戦略、会計理論、技法を習得する。	株式会社戦略MG研究所

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

就業規則

教職員はその職務遂行のため、自発的に研修に励み、かつ、学園又は各種団体等の行う研修をうけるなど、資質の向上に努めなければならない。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名「山形県登録販売者生涯学習研修会」(連携企業等:一般社団法人山形県医薬品登録販売者協会)

時期 令和元年9月16日

内容 登録販売者外部研修ガイドラインに従い、登録販売者として備えるべき知識・倫理観等を研修する

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名「令和元年度 公開セミナー」(連携企業等:山形県私立学校総連合会)
 期間:令和2年1月24日 対象:山形県私立学校教職員
 内容:学校安全教育「子どもの命を守る」講師 NPO法人体験型安全教育支援機構理事
 子どもたちの安全を守るための発達段階に沿った安全教育について

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「医事コンピュータ検定研修会」(連携企業等:医療秘書教育全国協議会)
 期間:令和2年11月〇日() 対象:
 内容:医事コンピュータ検定 電子カルテ検定受験指導について

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「令和2年度設置者・校長・教職員研修会」(連携企業等:山形県専修学校各種学校協会)
 期間:令和2年10月16日(金) 対象:専修学校・各種学校教職員
 内容:文科省より説明「専修学校及び各種学校に係る最新情報について」 研修「オンライン授業について」

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

学園が提供する教育サービスに対して、少子化の問題や保護者・地域社会の要求水準の高まりによって、教職員の専門性のみで経営方針を策定することは困難な時代が到来している。地域社会との融合・環境との調和を常に念頭に置き、ときに互いに相矛盾しそうな状況を調整していく必要がある。こうした学園を巡る環境変化の中で、自主的・自律的な学校経営を確立するためには、園児・生徒・学生、保護者、卒業生、地域住民、企業等様々な職種の教職員といった主要ステークホルダー(関係各位)に対する自らのミッション(使命)を明確にする必要がある

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	目標設定、達成状況
(2) 学校運営	取り組みの状況
(3) 教育活動	学校・園の自己評価報告
(4) 学修成果	次年度に向けての改善方策
(5) 学生支援	学校・園の良さと認められる点
(6) 教育環境	学校・園の改善点及び方策
(7) 学生の受入れ募集	取り組みの状況
(8) 財務	決算報告、監査報告
(9) 法令等の遵守	監査報告
(10) 社会貢献・地域貢献	取り組みの状況
(11) 国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

○企業との連携について

高校生及び専門学校生を対象にワーキングアドベンチャー(企業人との座談会)を開催し、約20社の企業にご協力いただいた。若者と企業人の双方向性によるコミュニケーションスキルの習得と、企業人の生の声を身近に感じ確かな職業理解を促すことが目的で、毎年多くの企業に参加いただいている。また、人材育成協議会を開催し、企業のトップの方との懇談を深め、県内企業との連携の強化が図られている。

○学生募集について

キャリア教育を高め、地元企業とのパイプを強化し就職に強い学校をアピールし学生募集に繋げ

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和2年6月1日現在

名前	所属	任期	種別
山本恒雄	山本学園理事長 竹田和裁研究所所長	平成29年4月1日～ 令和3年3月31日(4年)	学園関係者
関義人	山本学園理事 山本学園高等学校校長	令和2年1月1日～ 令和5年12月31日(4年)	学園関係者
遠藤陽子	山本学園理事 山本学園同窓会竹朋会会長	令和元年6月1日～ 令和5年5月31日(4年)	同窓会

大久保 章 宏	山本学園理事 株式会社大久保硝子店代表取締役社長	平成29年4月28日～ 令和3年4月27日(4年)	企業等委員
塚 崎 敏	山本学園監事 元山形芸術学園専務理事・校長	令和2年4月28日～ 令和6年4月27日(4年)	地域住民
安孫子 英 彦	山本学園監事 安孫子総合法律事務所弁護士	平成29年4月28日～ 令和3年4月27日(4年)	企業等委員
山 本 幹 雄	竹田西部幼稚園副園長 兼学園本部理事長室長	令和元年4月1日～ 令和5年3月31日(4年)	学園関係者
川 口 昌 史	専門学校山形V.カレッジ同窓会「清山会」会長 株式会社IC-NETリカバリー事業部係長	平成29年4月1日～ 令和3年3月31日(4年)	企業等委員
伊 藤 淳	学園本部事務局長兼経理部長	平成29年4月1日～ 令和3年3月31日(4年)	学園関係者
大 沼 義 和	山本学園同窓会竹朋会副会長	平成30年6月1日～ 令和4年5月31日(4年)	同窓会
鈴 木 静 江	竹田和裁研究所(就職先)事務長 旧竹田家政専門学校卒業生	平成29年4月1日～ 令和3年3月31日(4年)	企業等委員・卒業生
波多野 陽 一	ピーウィー保育園施設長	平成29年4月1日～ 令和3年3月31日(4年)	学園関係者
松 井 寿 夫	山本学園高等学校教頭	平成30年6月1日～ 令和4年5月31日(4年)	学園関係者
東海林 真 美	竹田西部幼稚園総務主任	平成30年6月1日～ 令和4年5月31日(4年)	学園関係者

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ)・広報誌等の刊行物・その他() ()

URL: <https://www.ycb.ac.jp>

公表時期: 令和2年10月30日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

分かりやすい情報を提供した上で必要な改善を行い、「授業の質保証を担保すること」を基本方針とする。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校の概要、目標及び計画
(2)各学科等の教育	各学科等の教育
(3)教職員	教職員
(4)キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育・実践的職業教育
(5)様々な教育活動・教育環境	様々な教育活動・教育環境
(6)学生の生活支援	学生の生活支援
(7)学生納付金・修学支援	学生納付金・修学支援
(8)学校の財務	学校の財務
(9)学校評価	学校評価
(10)国際連携の状況	
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ)・広報誌等の刊行物・その他() ()

URL: <https://www.ycb.ac.jp>

授業科目等の概要

(〇〇専門課程〇〇学科)															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
1	○		ビジネス実務 1	グループワークから自己理解・他者理解を行う。また、就職活動全般の基本的事項を習得し、就職活動に向かう。	1通	60	4	○			○			○	
2	○		IT活用実習	パソコン (Word, Excel) の基本的操作を習得し、全経文書技能検定3級以上及び表計算技能検定3級以上を目指す。	1通	120	4			○	○				○
3	○		ビジネススキル 1	ビジネス全般に理解を深め、関連する検定試験に挑戦する。	1通	90	3	○			○		○		
4	○		計算実務	電卓の基本機能を活用し、正確・迅速に計算処理を行う。事務処理に必要な計算力を養う。	1通	60	2		○		○				○
5	○		自主研究 1	各自の年間課題、短期課題を設定し、学習レベルの向上を図る。	1前	30	1		○		○		○		
6	○		キャリア実習 1	1年次にインターンシップ・ボランティア・アルバイトを経験することにより、自ら考え、自ら行動する力を育む。	1後	60	2			○	○		○		
7		○	簿記ゼミ	簿記の基礎から学び、段階を踏んで日商簿記2級を目指す。	1通	330	11	○			○				
8		○	商業会計	日商簿記検定と全経パソコン会計検定を通じ、簿記上の取引から決算書の作成まで体系的に学習する。	1通 2通	60	2		○		○				○
9		○	ネットワーク演習 1	ネットワーク、マルチメディア、Webの分野で応用知識を学習する。	1通	60	2		○		○				○
10		○	FP基礎	税金や年金、社会保険、生命保険など、私たちの社会生活に必要なお金の知識を学ぶ。	1後 2後	30	1	○			○				○
11		○	医療事務 1	医科の診療費算定について、基礎から応用まで学ぶ。	1通	180	6	○			○		○		
12		○	医事コンピュータ実習	医科診療費計算用パソコンソフトを使用し、日計とレセプト作成を学ぶ。	1通	90	3			○					○
13		○	基礎医学	医学に関係する基礎知識や疾病を理解する。	1通 2通	60	2	○							○

30	○		自主研究 2	各自の年間課題、短期課題を設定し、学習レベルの向上を図る。	2通	60	4		○	○	○							
31	○		ビジネスマナー 2	企業が求める社会人基礎力を確実に習得し、職業人としての資質向上を目指す。	2通	90	3		○	○	○							
32	○		N I E	新聞を媒体に総合的な学習を行いながら、自ら課題を見つけ研究しグループで新聞作成を行う。	2通	60	2		○	○	○							
33	○		ネットビジネス実習	ネット活用ビジネスの基本であるHP作成、管理の他、画像処理技術までを学ぶ。	2前	60	2		○	○								○
34	○		プレゼンテーション	プレゼンテーションソフトを使用し、テーマに従ったプレゼン資料を作成、発表する。	2前	30	1		○	○								○
35	○		マネジメントゲーム	ビジネスゲーム（経営シミュレーションゲーム）を体験しながら、実践的な経営戦略、会計理論、技法を習得する。	2後	30	1	○		○								○ ○
36	○		D B	データベースソフトを使用し、企業活動でのデータの活用を学ぶ。	2後	30	1		○	○								○
37		○	歯科事務	歯科についての基本的な診療代の算定方法を学ぶ。	2前	90	3	○		○								○
38		○	調剤事務	調剤薬局での調剤料金算定方法を学ぶ	2後	120	4	○		○								○
39		○	コンピュータレポート	調剤算定ソフトでの調剤報酬算定、医事コンピュータ検定の上位級合格を目指す。	2通	60	2		○	○								○
40		○	医事応用	1年次学習の医科医療保険事務を基礎にして、実践に近い診療報酬算定の練習や、上位の検定級に挑戦する。	2前	30	1	○		○								○
合計					40科目	3, 210単位時間(113単位)												

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。